



鳥取県版ムラサキウニ駆除マニュアル

令和8年3月

【概要版】

藻場減少の一因であるムラサキウニは、適正な時期や場所を設定し、適切な方法で対処すれば、効果的に減少させ、藻場の維持・回復を図ることができます。

STEP 1

時期

- ムラサキウニが成熟する前（成熟する時期:7-10月）
- 海藻が芽生える前（ホンダワラ類の芽生え:10-11月,コンブ目の芽生え:3-4月）
※海域ごとに事前に芽生えの時期を把握してから設定する

STEP 2

場所

- 海藻がある場所、かつて海藻があった場所（海藻群落は遊走子を供給）
※海底の石が転がる場所は海藻が残りやすいため避ける
- ムラサキウニが侵入しにくい場所（砂に囲まれた岩礁、沖防波堤など）

STEP 3

方法

- ブイ付土嚢、海底ロープ、岩盤ボルトなどを目印に区域を設定（目安:100㎡/5人）
※素潜りで1人1時間当たり250個、スキューバ潜水だと400個の駆除が可能
- 区域内のムラサキウニをバールで徹底的に叩き潰す（岩の下や隙間も）
※区域内の密度が5個体/㎡以下になるまで、繰り返し駆除する

STEP 4

効果把握

- 駆除前後の海底写真を記録（ムラサキウニの密度状況,海藻の繁茂状況）
- ムラサキウニの駆除数を記録（ムラサキウニを叩き潰した数）

集中駆除

選定した区域内のムラサキウニを徹底的に駆除